

【生活科年間指導計画参考資料】 せいかつ上 あおぞら

信州教育出版社

本資料は、新型コロナウイルス感染症対策にともない、臨時休業を実施していた小学校において、この6月からの学校教育活動再開に寄せて、子どもの学びを保障していくことを第一に考え、単元ごとに学校の授業以外の場での学習が可能であったり、感染症対策の観点から指導順序を変更する必要があったりする教材・学習活動を提示し、各学校の生活科年間指導計画再編の参考にさせていただくものです。  
 再編にあたっては、具体的な活動や体験を通して学ぶ生活科の教科特性や、低学年という発達段階、家庭環境の多様さを踏まえると、生活科の学習は、できるだけ学校で行うことが望ましいと考えます。そのため、各地域の実情に合わせて、適宜、教材・学習活動を増減させてご活用ください。その際、弊社発行の「指導計画作成資料 せいかつ」や、「信教出版EDU-TREE」のフリーコンテンツ内にあるダウンロード資料も参照してください。  
 なお、行事にかかわる活動は、季節にかかわる活動を通して立ち上ることを踏まえて、例えば「たなばた」を「まぶしい なつ」に組み入れるなど、関連する単元を一体的に扱うことで、時数の調整を図ることが可能です。

① 単元名	② 教科書ページ	③ 配当 時数	学習内容 ( )内は時数	④ 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動	⑤ ④の教材・学習活動の概要、配当時数 ( )内は時数 ※④に位置付けた理由	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑥の教材・学習活動の概要、配当時数	⑧ 次学年又は次々学年に移して指導することが考えられる教材・学習活動	⑨ ⑧の教材・学習活動の概要、配当時数( )内は時数	⑩ ④の教材に係る配当時数を除いた、学校の授業が必要な時数
うれしいな いちねんせい	p4-25	8 + 国 算 図 音 体 特	○遊びを基本に少しずつ学校生活に慣れて、先生や友達とかかわりを広げていく。(1) ○登校中に会った人とかかわりや出来事を通して、体験的に安全への意識を高めていく。(1) ○「がっこうたんけん」で発見したよろこびを共有したり、活動への意欲を高めたりする。(2) ○友達、上級生、先生方、そして、ボランティアの方々との触れ合いを通して、「学校って楽しいな」と感じながら安心感を得ていく。(1) ○教室などの校舎内から外へ興味・関心を広げて、友とかかわりながら、自ら動きだしていく。(2) ○教室に持ち込んだり、登下校で見つけたりしたものなどを語り合う中で、これからやりたい活動への意欲を高めていく。(1)	○登校中に会った人とかかわりや出来事を通して、体験的に安全への意識を高めていく。	※安全見守り隊の方をはじめ、地域の方からの声かけや安全指導等により、登下校中の安全意識を高めることができる。(1)					7
はると なかよし	p26-33	6 + 国 音 特	○安心感をもって、自分のやりたいことを楽しみながら、春ならではの自然を五感で感じる。(2) ○道すがらやいつもの場所などで見たり感じたりしたことに関心をもち、自ら働きかけたり、友達と共有しようとしていたりする。(2) ○春の野草を料理して味わったり、野で楽しんだことを文や絵に表したりすることを通して、春のおもしろみを味わい直す。(2)	○安心感をもって、自分のやりたいことを楽しみながら、春ならではの自然を五感で感じる。 ○春の野草を料理して味わったり、野で楽しんだことを文や絵に表したりすることを通して、春のおもしろみを味わい直す。	※各家庭においても、身の回りの春の自然にかかわったり、家族と共に春ならではの体験をすることができる。(1) ※家庭学習の一環として、春の野草を使った親子調理体験を実施することで、春のおもしろみを味わい直すことができる。(1)					4
たんごの せつく	p34-35	4	○地域に伝わる端午の節句にまつわる食べ物を食べたり、風習を調べたり、体験したりする。(1) ○自分なりの表現の仕方でこいのぼりを作ったり鯉を描いたりする。(2) ○家族や地域の人々が自分の成長を願う思いを感じ取る。(1)							4
わたしの あさがお	p36-43	4	○アサガオの種に出会い、育てたい意欲をもち、栽培への期待を膨らませ、種まきの方法などを考えていく。(1) ○土、鉢、水、種のまき方等、アサガオに対する自分のこだわりをもってかかわる。(1) ○発芽の様子をとらえ、種の命を感じ、アサガオの成長にあわせて働きかけていく。(1) ○アサガオの成長に張り合いをもち、開花への期待とよろこび、その美しさに心を寄せていく。(1)	○アサガオの成長に張り合いをもち、開花への期待とよろこび、その美しさに心を寄せていく。	※学校再開の遅れにより、アサガオの種まきが6月にずれ込むことで、開花時期が夏休みになる場合は、各家庭での観察が考えられる。(1)				3	

① 単元名	② 教科書ページ	③ 担当時数	学習内容 ( )内は時数	④ 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動	⑤ ④の教材・学習活動の概要, 配当時数 ( )内は時数 ※④に位置付けた理由	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑥の教材・学習活動の概要, 配当時数	⑧ 次学年又は次々学年に移して指導することが考えられる教材・学習活動	⑨ ⑧の教材・学習活動の概要, 配当時数 ( )内は時数	⑩ ④の教材に係る配当時数を除いた, 学校の授業が必要な時数
いきものと いっしょ①	p44-51	6	○いきものを飼うことができるのか直接かかわったり飼い方を調べたりして, いきものとの生活に思いをめぐらしていく。(1) ○いきものと直接触れ合ったり, 家からえさを持ち込んだりして, 自分なりのかかわりをする。(2) ○いきものに対する願いやこだわりを小屋作りや名付け, 日ごろの世話に発揮する。(3)	○いきものと直接触れ合ったり, 家からえさを持ち込んだりして, 自分なりのかかわりをする。	※学校で飼っているいきものを家庭で話題にして, 持っていきたいえさの種類や量を自分で決めることができる。(1)					5
たなばた	p52-55	3	○七夕飾りや短冊を作ったり, 飾ったりする中で, 空想の世界に思いを馳せていく。(1) ○空想と現実を行き来しながら, 遊んだり, 活動したりしながら, 自分たちのたなばたをつくっていく。(1) ○笹竹の置き場所や七夕の終末について, それまで大切にしていた思いをもとに決め出す。(1)							3
まぶしい なつ	p56-67	8	○自分なりのペースで夏の川にかかわり, 水の心地よさや友達と過ごす楽しさを味わう。(2) ○自分なりの過ごし方で, 夏の日差しや日陰の涼しさなどを感じながら, 様々な夏の事物にかかわっていく。(1) ○いつもの場所やその道すがらで, 夏らしさを感じ, 春からの変化にも気付いていく。(3) ○雨の日や雨上がりに外へ出て, やりたいことを存分に楽しみ, 水や泥などの感触を体全体で味わう。(1) ○夏ならではの風物や行事を通して, 家族や地域の人々と楽しくかかわり合う。(1)	○夏ならではの風物や行事を通して, 家族や地域の人々と楽しくかかわり合う。	※夏休みを利用して, 家族や地域の人々と楽しくかかわり合うことができる。(1)					7
ひとつぶの たねから	p68-73	6	○「わたしの あさがお」に対する自分の願いをもって, 色水遊びやたたき染め等の活動に取り組む。(3) ○それぞれの「わたしの あさがお」とのかかわりや収束の迎え方を決め出していく。(3)							6
いきものと いっしょ②	p74-79	8	○そのいきものと日常的にかかわることで, 様々なことに気付き, 友達とかかわりながら, 飼育環境を考え合う。(2) ○そのいきものとかかわりの中で, 遊び場作りやえさ箱等の工夫をする。(3) ○そのいきものとの冬に向けたくらしをつくっていく。(3)							8
おつきみ	p80-83	2	○お月見にかかわるいわれや風習に対して, 自分にできるやり方を調べ, お月見への興味・関心を高める。(1) ○お月見会の準備をする中で, そのいわれや風習を大切にしながら, 自分たちのお月見会をつくり上げる。(1)							2
あきが いっぱい	p84-97	10	○自分なりの過ごし方で, 色づいた秋の美しさや空気の心地よさ, 落ち葉や木の実の感触などを味わう。(2) ○いつもの場所や道すがらで, 秋ならではのおもしろみを味わう。(4) ○秋の作物を自らの手で収穫したり, 味わったりする。(1) ○木の実で遊ぶことを通して, 工夫して遊びを創り出すおもしろみを感じたり, 友達と遊び楽しんだりする。(3)	○自分なりの過ごし方で, 色づいた秋の美しさや空気の心地よさ, 落ち葉や木の実の感触などを味わう。	※事前に家庭へ活動の趣旨を伝えた上で, 身近な秋の事物とかかわる体験の場を設けていただく。(1)					9

① 単元名	② 教科書ページ	③ 担当時数	学習内容 ( )内は時数	④ 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動	⑤ ④の教材・学習活動の概要, 配当時数 ( )内は時数 ※④に位置付けた理由	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑥の教材・学習活動の概要, 配当時数	⑧ 次学年又は次々学年に移して指導することが考えられる教材・学習活動	⑨ ⑧の教材・学習活動の概要, 配当時数 ( )内は時数	⑩ ④の教材に係る配当時数を除いた, 学校の授業が必要な時数
わたしと かぞく	p98-101	10	○自分の家族のことや家庭での仕事について, 関心をもち調べる中で, 家族のためにできそうなことを考える。(3) ○家族に支えてもらっていることに気づき, 自分のことは, 自分でしたり, 自分でできることを増やしたりする。(5) ○家庭や学校での取り組みを通して, 大切な家族の一員であることに気付いていく。(2)	○自分の家族のことや家庭での仕事について, 関心をもち調べる中で, 家族のためにできそうなことを考える。 ○家族に支えてもらっていることに気づき, 自分のことは, 自分でしたり, 自分でできることを増やしたりする。	※自分の家族や仕事の様子を調べることは, まさに, 家庭でないとできないものである。(2) ※自分でできることの実践は, 主として家庭での取り組みとなる。(3)				5	
ふゆも きらきら	p102-113	7	○自分なりの過ごし方で, 冬ならではの自然を全身で感じながら, その時, その場所のよさを味わい楽しむ。(2) ○いつもの場所や道すがらで, 冬ならではののおもしろみを味わう。(3) ○冬の寒さに負けずに進んで外で遊んだり, 冬至のいわれを調べたり, 食したり, 体験したりする。(1) ○冬休みの楽しみを話し合ったり, お正月の遊びを楽しんだり, 家族と楽しく過ごしたりする。(1)	○冬休みの楽しみを話し合ったり, お正月の遊びを楽しんだり, 家族と楽しく過ごしたりする。	※冬休みやお正月の楽しみを家で味わえる体験の場として設けていただく。(1)				6	
せつぶん	p114-116	2	○節分のいわれを調べる中で, 自分にできる活動を考え, クラスの節分をつくり上げていく。(1) ○学校で体験した豆まきを生かし, 家族と共に, 自分の家にあった節分に取り組む。(1)	○節分のいわれ調べと自分の家にあった節分の取り組みをする。	※家族の協力をお願いして, 節分のいわれ調べや, 家庭や地域での豆まきの活動に取り組むことが考えられる。(1)				1	
てづくり おもちゃ	p117-119	5	○友達とかかわりながら, 自分で作りたいおもちゃを作っては遊び, 遊んでは工夫し, また, 作り直しては遊ぶことができ, 存分に楽しみ, 浸り込む。(5)						5	
ひなまつり	p120-121	3	○ひなまつりの由来や地域のひなまつりやひな人形のことを調べたり, 2年生になる自分への願いを込めて作ったひな人形を飾ったり, 家族で味わったりする。(3)	○ひなまつりの由来や地域のひなまつりやひな人形のことを調べたり, 2年生になる自分への願いを込めて作ったひな人形を飾ったり, 家族で味わったりする。	※家族の協力を得て, ひなまつりの由来調べや学校での学習を家庭での行事につなげていくことができる。(1)				2	
もう すぐ 二ねんせい	p122-128	9	○1年間の生活科を振り返りながら, 友や教師とその時の思い出を語り合う中で, 自分や友の成長に気付く。(5) ○発表会に向けて主体的に協働的に準備を進め, 相手意識をもって, 自分の成長をお家の人に伝えようとする。(4)	○発表会に向けて主体的に協働的に準備を進め, 相手意識をもって, 自分の成長をお家の人に伝えようとする。	※事前に保護者へ単元の趣旨や展開の仕方, 協力の方法を知らせ, 理解を得て協力してもらう。(1)				8	